



- そば学
- おさけ学
- デザイン学
- クラフトビール部
- 交野伝説学
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かののキャンパス
- KATANOホイスコーレ準備室

● 目指せ。交野でテイルノサウルスレース学

● 活動を展開してまいります。



5月の花 藤の花

交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！ 令和7年5月号



こいのぼり

2025年度交野おりひめ大学開講式を開催
交野に新たな学びの風が吹く

4月19日、交野市のゆうゆうセンターにて、交野おりひめ大学の2025年度開講式が開催されました。
新たな学びへの期待を胸に、50名ほどの学科生たちが、開講式に臨みました。

開講式の冒頭では、今年1月に逝去された安養寺前代表理事を偲び、思い出の写真をしながら、安養寺氏との思い出を語り合いました。
続いて、「来賓の山本市長より挨拶を賜りました。」

市長は、昨年10月に施行された、交野おりひめ大学とも深い関わりのある「乾杯条例」を紹介され、参加者全員で乾杯を行いました。
酒づくりの会オリジナルブランドの日本酒「百天満天」や、安養寺氏を偲んで醸造されたクラフトビール「桜エール」が酌み交わされ、和やかな雰囲気のもと開講式は進められました。

大学の活動紹介では、篠崎代表理事が、交野おりひめ大学の母体である「一般社団法人交野おりひめ未来研究所」の規約の一部を紹介、「輝くエト、楽しいエト、明るいマチを創造する」という運営目的を改めて説明されました。
「の理念に基づき、昨年度は『酒森』『歌森』『キサイチゲート』『乾杯条例』『子どもたちの未来を考える団体の会』との連携をはじめとする数々の事業や、大学から生まれたクラフトビール醸造所「ビック・ブルワーズ」の活動が紹介されました。

また、これらの活動を支える学費の使途についても説明があり、参加者は大学の多岐にわたる活動内容への理解を深

めていました。
続いて、各学科リーダーから学科の活動報告と今後の計画発表が行われました。

開講式の後半は、「10年後の交野おりひめ大学はどうなっている？」というテーマでワークショップが開催され、活発な意見交換が行われました。
3つのグループに分かれた学科生たちは、10年後の大学の姿を思い描きながら、自由な発想で意見を出し合いました。各グループからは、「地域へ根ざした場所づくり」、「みんなに愛され応援してもらい、いろんな夢が実現している。」「道の駅におりひめ大学のキャンパスを」、「世代や地域を超え、世界へはばたく！」、「交野にしかない特色を活かし、活動の輪が世界に広がる。」など、夢あふれる多様なアイデアが発表されました。このワークショップでの意見は、今後10年間の大学の活動キーワードとしてまとめられ、後日ホームページに掲載する予定です。



熱心に発表する学科生たち

交野おりひめ大学は、学科生一人ひとりの「やりたい」という思いを実現する「こと」で、地域を活性化し、誰もが輝ける社会を目指しています。
2025年度も、交野おりひめ大学は、大学登録料、正会員費、賛助会員費を活動資金として、多岐にわたる企画や

星の里いわふねプラネタリウム 上映プログラムと
来場者プレゼント！

交野伝説学科は、星の里いわふねのプラネタリウムで上映されるプログラムを、応援しています。
今回ご紹介するのは、交野市の星空と伝説をテーマにした『愛を紡ぐ七夕のまち交野』です。

このプログラムは、交野市星のまち観光協会が制作し、夏の星座の紹介をはじめ、交野に伝わる七夕伝説「さつら」には市内の名所を紹介する内容となっており、今年の6月から9月までの期間、上映される予定です。
交野市に語り継がれる七夕伝説は、饒速日命(ニギハヤヒノミコト)の天孫降臨伝説と並び、ロマンティックな物語として知られています。

このプログラムでは、交野の美しい星空にまつわる伝承を、臨場感あふれる映像とともに楽しむことができます。
さらに、来場者の方には『幸せなカップルになれるハートの缶バッジ』をプレゼント中！ぜひ全種類コンプリートを目指し、何度でも足を運んでみてください。

交野の魅力と伝説を存分に味わえるこの機会を、どうぞお見逃しなく！



幸せなカップルになれるハートの缶バッジ♪